

保護者 各位

新居浜市立泉川中学校
校長 久保 善嗣

令和4年度 学校評価アンケート集計結果の報告

昨年末は、ご多用のところをアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。保護者・生徒及び教職員のアンケート結果が出ましたのでお知らせいたします。この結果を真摯に受け止め、来年度の教育活動を充実させていきたいと考えております。なお、裏面に分析及び来年度の改善策について載せております。

【回答者数】 保護者202名 生徒224名 教職員20名 (令和4年12月実施)

【評価項目に対する回答及び備考について】

○評価… 評価項目を、4：そう思う、3：ややそう思う、2：あまりそう思わない、1：そう思わない、の4段階で評価したものの平均値。下段は前年度比を±で、空欄は変化なしを表す。

○備考… 三者とも3ポイント以上のものをA、3ポイント未満のものを課題と表示。また、それぞれ上昇あるいは下降傾向にあるものについては ↑ ・ ↓ で表示。

No.	評 価 項 目 (下段は保護者用の項目ですが、生徒・教職員用もそれに対応しています。)	評 価			備考
		教職員	保護者	生徒	
1	お子さんは充実した学校生活を送っている。	3.2	3.4 -0.1	3.6 -0.1	A
2	お子さんは目標を持って学校生活を送っている。	3.0	2.9 -0.3	3.4 -0.1	
3	学校は、保護者、地域の願いに沿った学校づくりを進めている。	3.6 -0.1	3.2		A
4	学校からの情報（連絡文書等）は適切に提供されている。	3.3 -0.3	3.1 -0.1	3.3 -0.1	A
5	学校は、分かりやすい授業づくりに努めている。	3.3 -0.1	3.0 -0.1	3.2 -0.3	A
6	地域の環境や人材が、教育活動に生かされている。	3.3 -0.1	3.2	3.5 -0.1	A
7	お子さんの学力は向上している。	2.5 -0.3	2.5 -0.2	2.7 -0.6	
8	お子さんは計画的に家庭学習をしている。	2.7 -0.1	2.4 -0.3	3.1 -0.2	
9	お子さんのあいさつはよくできている。	2.2 -0.6	3.1 -0.1	3.5 0.1	
10	お子さんは、社会・家族のルールや学校の決まりが守れている。	2.8 -0.2	3.3	3.6	
11	子どものことについて、先生に気軽に相談できる。	3.2 -0.2	3.0	3.3 -0.1	A
12	学校は、いじめのない楽しい学校づくり・学級づくりに努めている。	3.4 0.1	3.1 -0.1	3.4 -0.2	A
13	学校は、同じ方針で生徒指導ができている。	2.5 -0.6	3.0	3.5 -0.1	
14	先生たちは、お子さんをよく理解し、よさを認め、伸ばそうと努めている	3.3 -0.1	3.0 -0.1	3.3	A
15	学校は清掃が行き届き、適切な環境になっている。	3.1 -0.4	3.4	3.2	A
16	学校行事は、生徒にとって充実している。	3.1 -0.6	3.2	3.6 -0.1	A
17	部活動は、生徒にとって充実した活動になっている。	3.3 -0.1	3.2	3.5	A
18	お子さんは地域のボランティア等に進んで参加している。	3.1 -0.5	2.7 -0.1	2.8 -0.2	
19	学校は、お子さんの生き方や将来の夢・希望について考えを深める教育活動を行っている。	3.0 -0.2	2.8 -0.2	3.2 -0.1	
20	お子さんは、思いやりの心を持って友だちに接することができている。	3.1 -0.1	3.4	3.8	A
21	学校と地域が協働して行っている教育活動は、子ども・学校・地域にとって有益である。	3.1 -0.1	3.4 0.1	3.6 -0.1	A
22	学校は電子黒板やタブレット端末等の利用に積極的に取り組んでいる。	3.1 -0.1	3.2 -0.1	3.6 0.1	A

学校評価アンケート結果の分析及び来年度の改善策について

新居浜市立泉川中学校

1 令和4年度 学校評価アンケート結果の分析

昨年に比べてほとんどの項目でポイントが下がっている。先生方の評価は厳しいが、学校全体に目を向けた際、出来ていない項目があることには間違いない。

ただ、甘く評価をしたところで何も改善点は見えてこないなので、学校全体で再検討し、今後は教職員一人一人がよりよい学校をつくることを意識して、教育にあたっていかなければならない。

(1) 成 果

成果として表れているのが、「いじめのない学校づくり・学級づくりに取り組んでいる」である。教職員が生徒一人一人との関わりを大切にし、信頼関係を構築していく中で、生徒の変容に一早く気付き、対応を充実してきた結果である。常に生徒の活動の場には必ず教員がいることを原則とし、いじめや問題行動の早期発見に努めた。また、教育相談活動をすることで生徒が安心して学校生活が送れるようにも努めた。

「電子黒板やタブレット端末等の利用に積極的に取り組んでいる」については、積極的にＩＣＴ機器を活用することで、分かりやすい授業へとつながっていると考えられる。しかし、まだまだ使いこなせていない教員もいるので、ＩＣＴ支援員と協力し合い、研修を深めていきたい。

(2) 課 題

アンケート結果を見ると、全体的にポイントが下がっている。

特に気になった項目は「生徒のあいさつはよくできている」である。教職員・保護者・地域は大きな課題として認識しているが、生徒自身はよくできていると思っている。生徒間のあいさつはできているようだが、どんな場面でも誰に対しても気持ちの良いあいさつができるよう意識させていく必要がある。人として当たり前のことを当たり前にできる生徒を育てていきたい。また、教職員がもっと手本となるようなあいさつができるよう心掛けていく必要もある。

「生徒の学力は向上している」「生徒が計画的に家庭学習に取り組んでいる」については大幅に下がっている。電子黒板やタブレット等のＩＣＴ機器を活用し、端末を活用する技能を身に付けさせ、基礎的・基本的な知識の定着を図る等、より効果的な学習の手立てをしていかなければならない。また本校の大きな課題として、家庭学習においてゲームやスマホなどを使用する時間が増えているため、計画的に家庭学習を進めていくことができない生徒が多くいる。各家庭で再度その扱いについて確認し、協力してもらえようように連携し、今の時代にあった取組を行う必要がある。

「生徒は、地域の一員としてＥＳＤやボランティア等に進んで参加している」については、毎月行われる「大好き泉川」奉仕作業にたくさんの生徒が参加しているが、毎回、参加する生徒は決まっている。作業方法も地域からの要望が多く、決まった作業になりつつあるので、今後、生徒（委員会活動）たちの中から地域にもっと目を向け、自分たちで考え、自分たちで地域を美しくしていくためのやり方を地域に発信できるようにしていきたい。また、日々の生活の中で環境について考える時間を取り、環境教育への意識も高めていく必要があると考える。